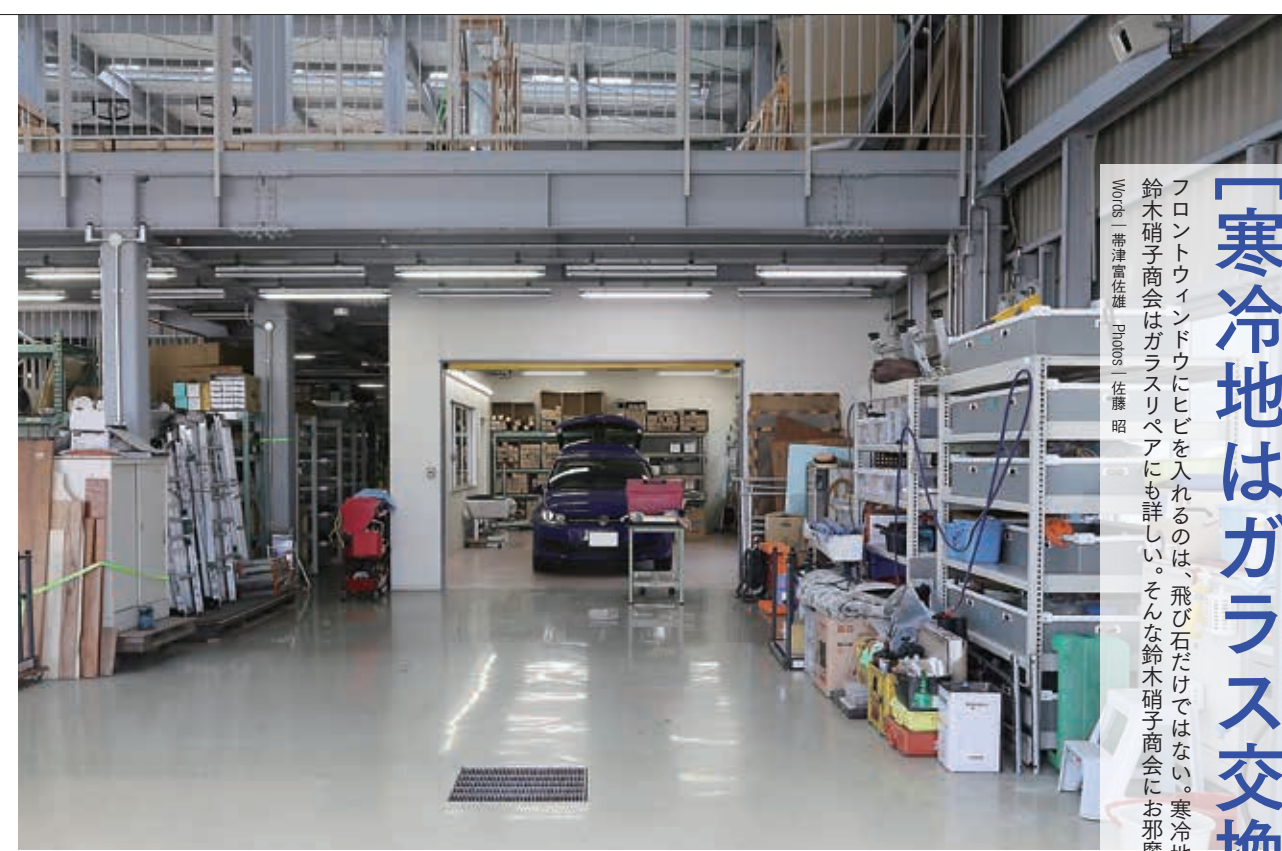


プロが教える 洗車とボディケアの常識、非常識。

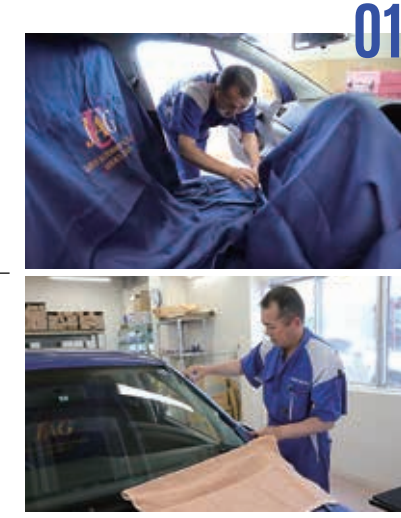
「寒冷地はガラス交換が多いってホント!？」

フロントウィンドウにヒビを入れるのは、飛び石だけではない。寒冷地では、その寒さがヒビ割れの原因にもなる。よって、仙台にある鈴木硝子商会はガラスリペアにも詳しい。そんな鈴木硝子商会にお邪魔して、ガラスリペアについて聞き、実際に作業も見せてもらった。

Words | 澤津 貴雄 Photos | 佐藤 昭



ガラスリペア 編



施工前の準備①
「トラブルはフロントウィンドウの小さな1点だったとしても、お客様の大切なクルマをお預かりするわけですから……」と、作業前の準備は実に丁寧に行われる。



使用する道具
写真左から時計回りにUVランプ、LEDライト、バキュームポンプ、フィクチャー、ニードル。これだけ見せられたら、何に使うのか想像がつかないものばかり。しかも、施工する職人の腕の差が顕著な世界だ。



07



03

作業①
キズの状態によっては、レジ液剤がキズの最先端にまでしっかり入り込むように、キズを拡げることがある。この力加減が、まさに職人技。



04

作業②
施工する部分を確定し、その部分にフィクチャーを固定していく。このフィクチャーがこの後のガラスリペアの作業ベースになる。ちなみに固定具は吸盤なので、ガラス面はキズつかない。



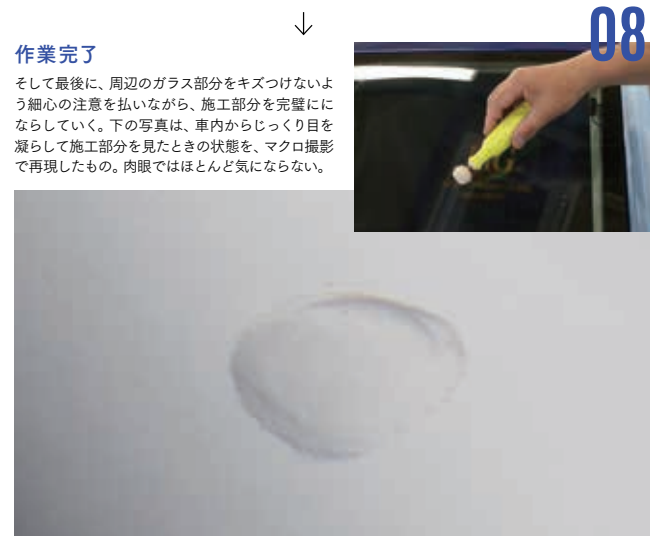
05

作業③
キズにレジ液剤を注入していく。バキュームポンプで注入圧を調整しながら、キズの最先端までしっかりとレジ液剤が浸透するように、慎重に注入していく。



06

作業④
先に注入したレジ液剤が「キズを埋める」タイプならば、このピットレジンは「キズをしっかりと塞ぐ」ためのもの。キュアリングフィルムを施工部分に貼った上からUVランプを当てて、完全に硬化させる。



08

作業完了
そして最後に、周辺のガラス部分をキズつけないよう細心の注意を払いながら、施工部分を完璧にしながらしていく。下の写真は、車内からじっくり目を凝らして施工部分を見たときの状態を、マクロ撮影で再現したもの。肉眼ではほとんど気にならない。

「ワザ」を披露してくれたプロ



希少技術、安全性、高品質の3つをモットーに、自動車から新幹線の車両まで「乗り物のガラスの達人」ともいえる鈴木硝子商会。広々とした工場は常に清潔に保たれており、安心して愛車を預けることができる。

[Source] 鈴木硝子商会
Tel.022-284-6135 www.suzuki-glass.co.jp

一般社団法人 日本自動車美容工業振興会
Tel.03-6434-5137 www.japan47carclub.com

専門の訓練を受けた「クルマをキレイにする」業者が加盟する団体で、確かな技術のあるブランドやショップが加盟している全国組織。本コーナーの指南役も務める同振興会代表の荒井氏は、「洗車、コーティング、板金、カークリーニング、そして今回のガラスリペアなど、クルマを美しく保つため、皆さんのご意見を取り入れて、より良い業界になるよう努力していきたいと思っています」と語る。

寒冷地の厳しい冬は、フロントウィンドウにもシビアだという。クルマの外と内の寒暖差が、フロントウィンドウの内部組織の、顕微鏡で見ても判らないほどの些細なムラに影響して、ピシッとヒビを入れることがある。それもたびたび起こる現象だというから、寒冷地でのフロントウィンドウの敵は飛び石だけじゃない。

「本当はガラス交換して欲しいんですけどね」

鈴木硝子商会の鈴木俊博さんはそう言うが、現実問題、ひと冬に2度も3度も同じトラブルに見舞われる人もいるから、「何とかココだけおられないか」ということになる。

「だから自動車ガラスの専門家としては、いろいろ研究しましたし、ガラスリペアもいろいろ試しました」

鈴木硝子商会は、そのときの「最高」のガラスリペアを採用してきた。そして現在の「最高」が、今回のガラスリペア術だ。具体的にいえば、2種類のレジ液剤を使用すること。簡単にいえば、「ガラスにできたキズを埋めるためのレジ液剤」と「修復したキズを上から塞ぐためのレジ液剤」だ。ちなみに、前者には酸性の薬剤が含まれていてキズに馴染みながらキズを埋め、さらに定着する。後者は、ただ単にキズ部分をカバーするだけではなく、そのうちに紫外線を使って徹底的に硬化させる。

そしてひと口にガラスリペアといっても、業者によっては単にキズを目立たなくさせるだけのものもあれば、定着性が悪かったり、キズを塞ぐ工程が省かれていたりする場合もあるらしい。

「当社のガラスリペアは、キズの拡大防止と視界の確保。それから車検で問題のないコンディションを長く保てることも目的です。ただし、リペアではどうにもならないキズもあります」

と鈴木さんは言う。そのときは、鈴木さんのアドバイスに従ってガラス交換したほうがいいだろう。